

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年2月13日

事業所名 レジリエンス・スポーツセンター

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	62.5%	37.5%	0.0%		・子どもによっては不十分なスペースと感ずることがある。
	2	職員の配置数は適切である	37.5%	62.5%	0.0%		・レッスンをメインで支援するスタッフが足りないように感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75.0%	25.0%	0.0%		・対応できることは行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	87.5%	0.0%	12.5%		・月1回の全体ミーティングで個々の意見を聞く。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	75.0%	25.0%	0.0%		・イベントにより実施にバラつきがある。 ・評価表は今年度から実施のため、現在実施途中。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12.5%	37.5%	37.5%		・評価表は今年度から実施のため、現在実施途中。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	37.5%	37.5%	12.5%		・第3者委員を依頼し定期的に助言等を受ける。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	0.0%		・ワークの時間があるとなお良い。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	87.5%	0.0%	12.5%		・県で作成したサポートブックのアセスメントシートを毎年実施。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	37.5%	50.0%	12.5%		・担当制で職員個々の強みを活かしたプログラム立案実施。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75.0%	25.0%	0.0%		・研修等や情報収集することで新たな種目や動きを取り入れる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	50.0%	50.0%	0.0%		・休日、長期休暇にイベント等を実施し利用者間、保護者間の交流を図る。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	75.0%	25.0%	0.0%	・利用者がニーズに合わせて予約しているように感じる。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0.0%	100.0%	0.0%		・朝礼で職員間の役割や動き、利用者の予約や前回の様子を確認する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	25.0%	62.5%	12.5%		・終礼で気になる利用者の様子や保護者からの相談等共有する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75.0%	25.0%	0.0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	25.0%	0.0%		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	25.0%	75.0%	0.0%		・認識不足な面があるため周知できるようにしたい。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	87.5%	12.5%	0.0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	62.5%	37.5%	0.0%		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	25.0%	50.0%	25.0%		・医療的ケア時は対象外、または要相談のため。 ・認識不足な面があるため周知できるようにしたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	62.5%	37.5%	0.0%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50.0%	50.0%	0.0%		・管理者が移行シートを作っているときもある。 ・認識不足な面があるため周知できるようにしたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	62.5%	37.5%	0.0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	12.5%	50.0%	37.5%		・今後地域のイベント等に参加し交流する機会をつくる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	12.5%	62.5%	25.0%		・認識不足な面があるため周知できるようにしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	75.0%	25.0%	0.0%		・職員などによりバラつきを感じる。→日々のミーティング等で情報共有を図る。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75.0%	25.0%	0.0%		・今年度から実施している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	87.5%	12.5%	0.0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	75.0%	25.0%	0.0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	62.5%	37.5%	0.0%		・今年度から実施している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	0.0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	87.5%	12.5%	0.0%		
	35	個人情報に十分注意している	62.5%	37.5%	0.0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	0.0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	12.5%	25.0%	62.5%		・どのようなことが実施できるか検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	37.5%	37.5%	25.0%		・早急に作成し周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	0.0%		・外部など利用者に伝えられていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50.0%	37.5%	12.5%		・今後支援計画の留意事項に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	37.5%	50.0%	12.5%		・保護者に確認の元、行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12.5%	62.5%	25.0%		・今後起こりうる具体的な事例を踏まえて共有していく。